

4 カメラケーブルを配線する。

① カメラケーブルを配線する。
② カメラケーブルをエンジンルーム内に取り込みサービスホールにとおす。

Memo

● ケーブルの配線の際は、発熱部を避けて配線を行ってください。

Memo

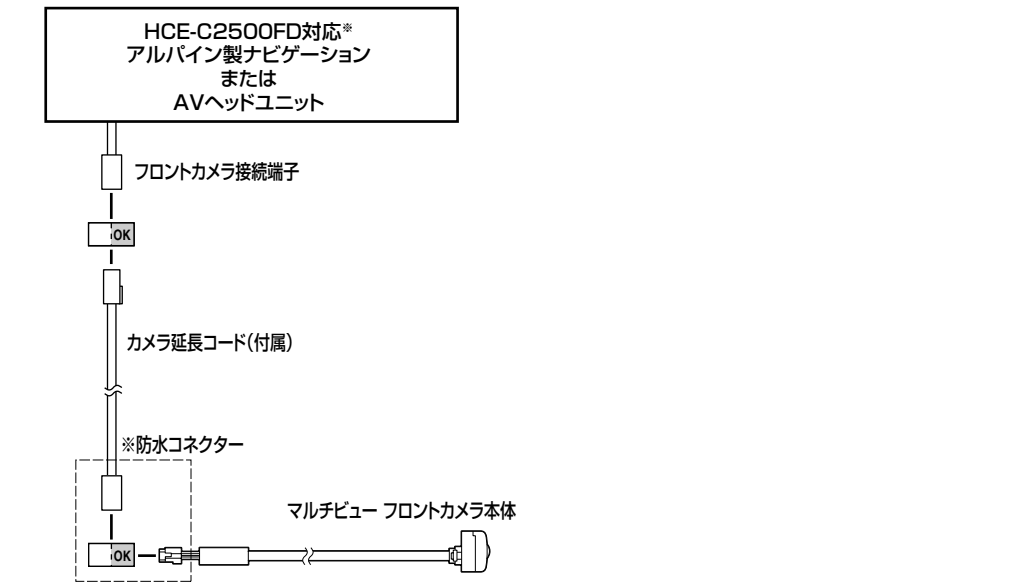
● ケーブルの配線の際は、突起部や金属の縁などにあたらないように取り回してください。
● カメラコードのコネクターとカメラ延長コードのコネクター接続は、必ず車室内で行ってください。

5 接続する。

注意

正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続については、HCE-C2500FD対応製品の取付説明書を参照し、必ずフロントカメラ接続端子に接続してください。

● 基本接続図



● HCE-C2500FD対応製品については、インフォメーションセンターへお問い合わせいただくか、アルパインホームページ(<http://www.alpine.co.jp/>)でご確認ください。

Memo

※ 防水コネクターはしっかりと接続してください。防水コネクターを外す場合は、マインスドライバー等を用いて外してください。

防水コネクター

3. 確認する

1 コード類を固定する。

カメラケーブルの配線、固定
付属のコードクランプでケーブルを止めながら配線を行なう。
コードクランプ貼り付け部はクリーニングクロス（市販品）でクリーニングする。
カメラコードを車室内に引き込む際は
・ ヒンジ等に飲み込まないように引き回す。
・ ヒンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
・ 車体のゴムシール部は付属の防水ゴムと両面テープを使い図のように引き回す。
※ 配線終了後はトランク/バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。

2 モニターやナビゲーション等、カメラ取り付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーを ON にして、組み合わせる製品の取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 カメラの角度を調整する。

カメラの取り付け

① 車を水平な場所へ停車する。
② イグニッションキーをONにして、**オプション**にタッチしフロントカメラ映像を見ながらカメラの角度を確認する。（コーナービューにしたとき路面がほぼ水平になるくらいが目安です。）

注意

● カメラの角度を調整するときは、必ずエンジンキーをOFFにし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動くと事故の原因となります。

5 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

その他

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いで故障と間違えていませんか。 → 接続・配線は正しく行われていますか。 → 下の表をもう一度ご確認ください。 → それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもとづいてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
カメラの映像が出ない。（カメラ以外の映像は正常）	
エンジンキーが ON 以外の位置になっている。	⇒ エンジンキーを ON の位置にしてください。
正しく接続されていない。	⇒ 本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
本機が接続されている製品のリバーズ線が接続されていない。	⇒ 本機が接続されている製品の取扱説明書を参照してリバーズ線を接続してください。
カメラの映像が正常でない。（カメラ以外の映像は正常）	
ディスプレイの画面がちらつく。	⇒ 蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、ディスプレイの画面がちらつくことがありますが故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	⇒ 暗いところを映したとき部分的に明るい光を映したときカメラ本体部付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	⇒ 取り付け台がはがれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	⇒ カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る。	⇒ 太陽光を直接映したり、強い光（ボディからの反射やヘッドライト等）が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります（スミア現象）。→故障ではありません。
他	
ラジオにノイズが入る。	⇒ シフトレバーがリバーズ時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ線より離してください。